

## 「農福連携全国フォーラム 2026 in ながの」を開催します ～生産者と消費者がともに作る農福連携と地域の未来～

「農福連携」は、障がいのある方の農業分野等での活躍を通じて、農林水産業の発展とともに、障がいのある方の自信や生きがいの創出、社会参画の実現を図り、地域の活力の向上にもつながる取組として全国的に広がっています。

このたび、農福連携の更なる推進と充実を図るため、「農福連携全国フォーラム 2026 in ながの」を開催します。全国の農業・福祉関係者や行政関係者等が一堂に会し、先進事例の共有や意見交換を通じて、農福連携の未来について考えます。

1 日 時 令和8年10月19日(月) 10時から17時まで(開場9時)

2 会 場 シャトレゼホテル 長野 1階 シャトレゼホール  
(長野県長野市七瀬1-1)

3 テーマ 「生産者と消費者がともに作る農福連携と地域の未来」

### 4 主な内容

- ・長野県産の「ノウフク商品」の販売や熊本県の復興応援ブース
- ・長野県内の障がいのある演奏者等による音楽イベント
- ・基調講演
- ・農福連携に取り組む事業者等による事例発表
- ・パネルディスカッション
- ・国の農福連携関連施策の紹介 など



### 5 参加対象者

農福連携に取り組んでいる、又は関心のある

- ・福祉事業者及び福祉関係者
- ・農林水産業者及び農林水産関係者
- ・農福連携に期待を寄せる企業や個人
- ・教育/行政関係者 など

### 6 参加申込

参加希望の方は、農福連携全国フォーラム特設サイトからお申し込みください。

<https://noufuku.or.jp/zenkokuforum2026nagano/>

申込期限:令和8年10月8日(木) 正午



(問合せ先)  
健康福祉部障がい者支援課共生社会推進係  
担当 渡邊、春原  
電話 026-232-0111 (代表) 内線 2405  
026-235-7105 (直通)  
FAX 026-234-2369  
E-mail shogai-shien@pref.nagano.lg.jp

# 「農福連携全国フォーラム<sup>にぜろにろく</sup>2026 in ながの」の開催について

障害者等が農林水産物の生産や加工に携わる農福連携は、農林水産業と福祉等の分野の課題の解決に資するだけでなく、地域の活力の向上にもつながるものであり、その広がりが期待されています。

このため、政府は、2024年6月に新たな「農福連携等推進ビジョン」を策定し、2030年度までに農福連携に取り組む主体数を12,000以上、地域協議会に参加する市町村数を200以上にすることを目標として、3つのアクションに取り組むこととしています。

そのような状況も踏まえ、農福連携の取組の更なる推進と充実を図るため、リアル開催としては6回目となる「農福連携全国フォーラム」を、長野県において、以下のとおり行います。

I 名 称 農福連携全国フォーラム<sup>にぜろにろく</sup>2026 in ながの

II 日 時 2026年10月19日（月）及び20日（火）

III 場 所 長野県下

IV テーマ 生産者と消費者がともに作る農福連携と地域の未来

## V 内 容

### 1 フォーラム

(1) 日時 2026年10月19日（月）10時～17時（開場9時）

(2) 会場 シャトレーゼホテル 長野1階 シャトレーゼホール（長野県長野市七瀬1-1）

※ 後日、フォーラムの様子をオンデマンドで配信します。

(3) 参加人数 140名程度

(4) プログラム

① 音楽イベント（長野県の障害者団体等に所属する障害のある演奏者等による合同の音楽セッション）

② 開会挨拶

皆川 芳嗣（一般社団法人 日本農福連携協会 会長理事）

阿部 守一（長野県知事、農福連携全国都道府県ネットワーク 会長）

③ 来賓挨拶

菅家 秀人（関東農政局長）

荻原 健司（長野市長） ※ ビデオメッセージ

④ 基調講演

菊池 馨実（早稲田大学 法学部 教授）  
「社会保障政策と農福連携について」（仮）

⑤ 事例発表

ア 森下 博紀（株式会社 ウィズファーム 代表取締役）  
イ 井西 正義（社会福祉法人 青葉仁会 就労支援部長）  
ウ 和栗 剛（特定非営利活動法人 わっこ谷の山福農林舎 代表）

⑥ パネルディスカッション

ア テーマ：生産者と消費者がともに作る農福連携と地域の未来

イ メンバー：

コーディネーター 皆川 芳嗣（一般社団法人 日本農福連携協会 会長理事）  
パネリスト 井西 正義（社会福祉法人 青葉仁会 就労支援部長）  
菊池 馨実（早稲田大学 法学部 教授）  
釘宮 謙悟（社会福祉法人 博愛会 副理事長）  
村木 厚子（一般社団法人 日本農福連携協会 副会長理事）  
森下 博紀（株式会社 ウィズファーム 代表取締役）  
和栗 剛（特定非営利活動法人 わっこ谷の山福農林舎 代表）

※ 長野県の取組説明 田中 聡（長野県 健康福祉部 障がい者支援課長）

⑦ 行政施策紹介

ア 農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課  
イ 厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課  
ウ 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課  
エ 法務省 矯正局 更生支援管理官  
オ 法務省 保護局 更生保護振興課  
カ 文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課

⑧ 次回開催県（熊本県）からのご挨拶

木村 敬（熊本県知事）  
熊本県 PR キャラクター 「くまモン」

⑨ 閉会挨拶

榊原 典俊（一般社団法人 日本農福連携協会 代表理事）

（５）参加費 無料。ただし、資料が必要な方は、1,000 円（協会の会員（企業、団体、法人又は自治体にあつては、3 名まで）、スポンサー（3 名まで）、協賛者（3 名まで）及び学生は無料）。

## 2 情報交換会

- (1) 開催趣旨 登壇者等を囲んで、交流し、情報交換等を行います。
- (2) 日時 2026年10月19日(月)18時～20時(開場17時)
- (3) 会場 シャトレーゼホテル 長野 3階 白鳳(長野県長野市七瀬1-1)
- (4) 参加人数 70名程度
- (5) 参加費 8,000円程度

## 3 スタディツアー

- (1) 開催趣旨 長野県内で先進的な取組を行っているところに赴いて、見学と意見交換を行います。
- (2) 日時 2026年10月20日(火)8時～16時頃  
(8時 長野駅出発 →16時頃 長野駅解散(帰路、佐久平駅経由))
- (3) 訪問先
  - ① 長野刑務所(長野県須坂市馬場町1200)  
「長野刑務所とワイン用ぶどうの生産」
  - ② ジオヒルズワイナリー(長野県小諸市山浦富士見平5656)  
「ワイン用ぶどうの生産と農福連携」
- (4) 参加人数 50名程度
- (5) 参加費 4,000円

## **VI 主な対象者**

農福連携に取り組んでいるか、農福連携に興味のある以下の者

- ① 福祉事業者及び福祉関係者
- ② 農林水産業者及び農林水産業関係者
- ③ 矯正及び更生保護関係者
- ④ 特別支援教育関係者
- ⑤ 農福連携に期待を寄せる企業や個人
- ⑥ 行政関係者

## **VII 主催者等**

### 1 共催

農福連携全国都道府県ネットワーク、長野県、一般社団法人 日本農福連携協会

### 2 協賛

公益財団法人 矯正協会、長野県生活協同組合連合会、長野県農業協同組合中央会、一般社団法人 光美江記念会

### 3 後援

法務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、長野市

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国社会就労センター協議会（セルプ協）  
公益財団法人 日本知的障害者福祉協会、農福連携特例子会社連絡会

4 一般社団法人 日本農福連携協会のスポンサー

株式会社 伊藤園、カルビー 株式会社、住友林業 株式会社、  
全国共済農業協同組合連合会、全国農業協同組合連合会、日本中央競馬会  
日本たばこ産業 株式会社、株式会社 農業総合研究所、農林中央金庫  
株式会社 ファーマインド